

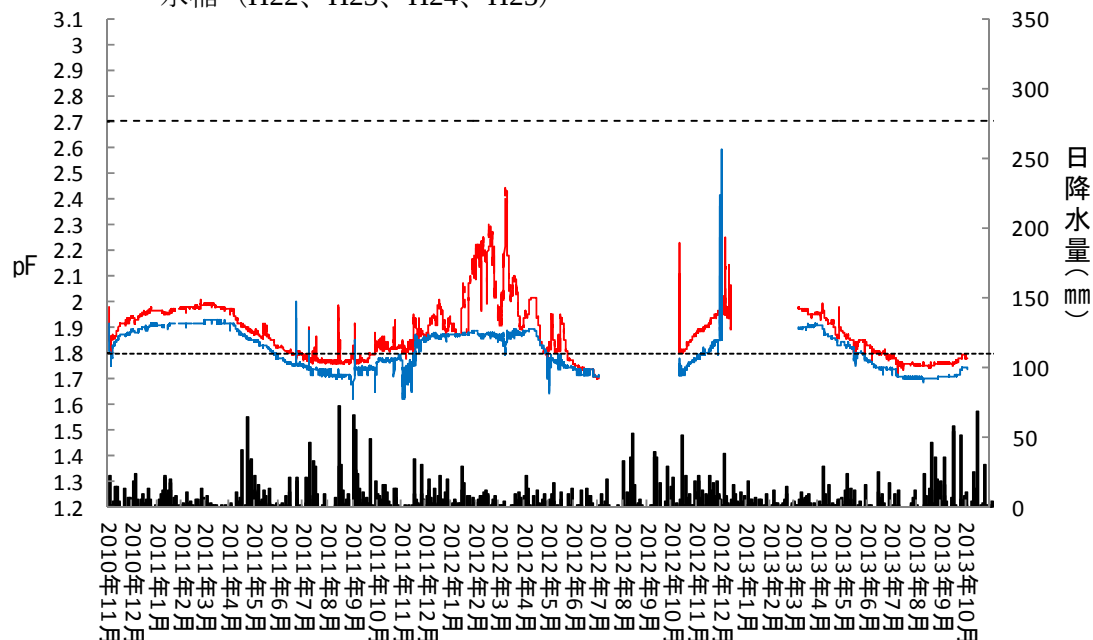
凡例：

- 50cm深土壌水分(pF)
- 30cm深土壌水分(pF)
- 最寄り観測所日降水量(mm)

2) 土壌水分－降水量

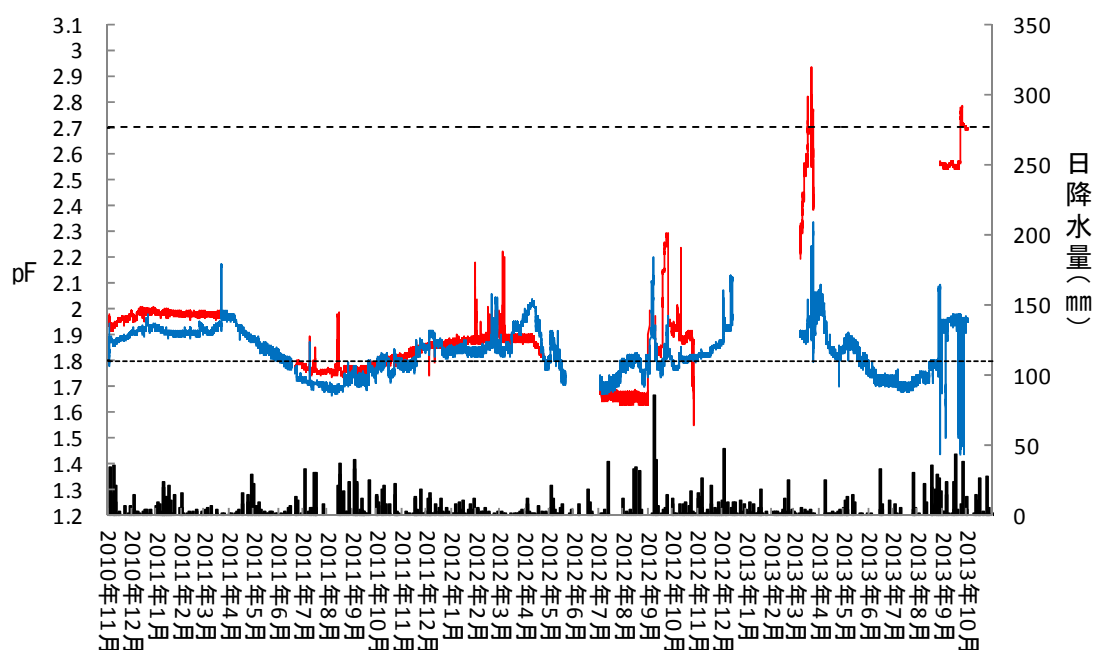
No. 1 北海道・栗山町－水田：灰色低地土

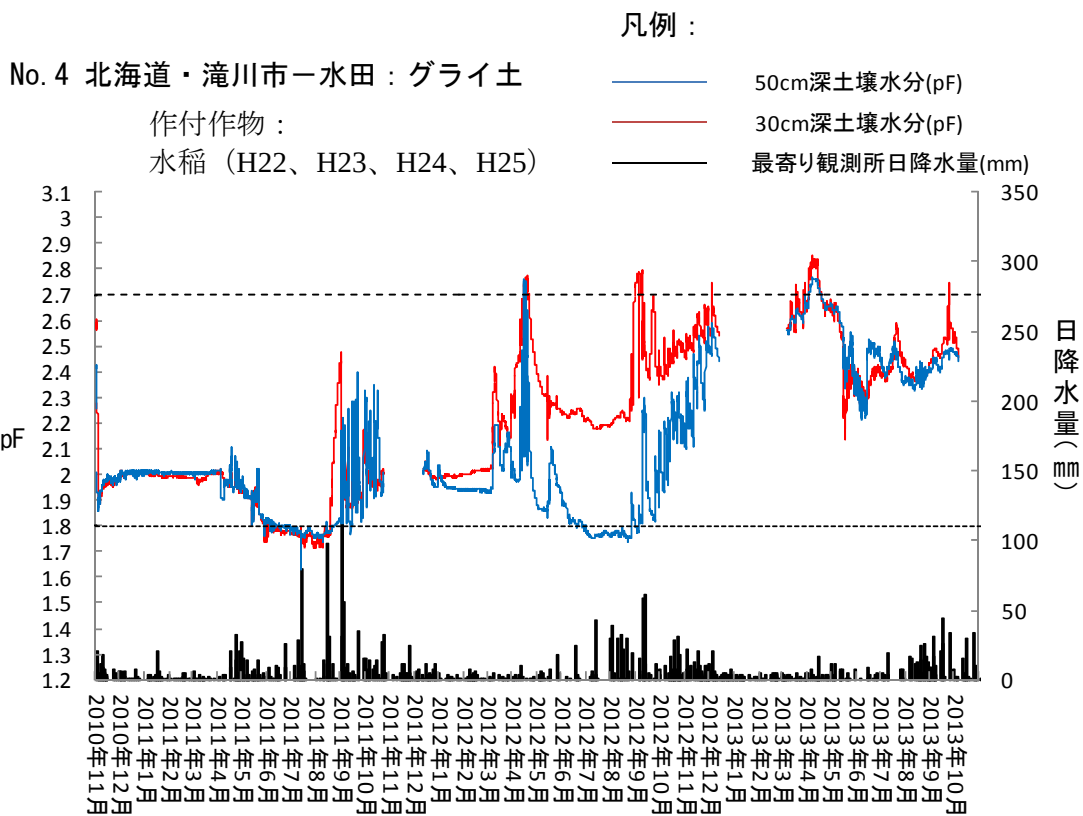
作付作物：
水稻（H22、H23、H24、H25）



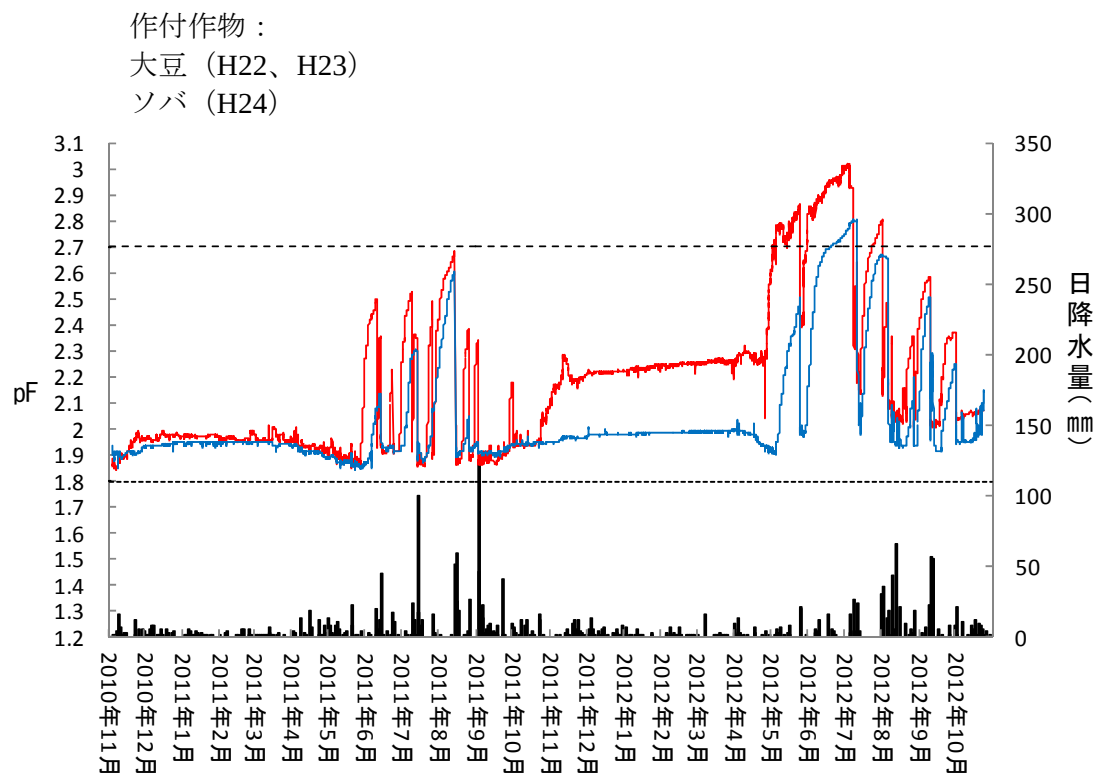
No. 2 北海道・南幌町－水田：グライ土

作付作物：
水稻（H22、H23、H24、H25）





No. 6 北海道・美瑛町一畑：褐色森林土

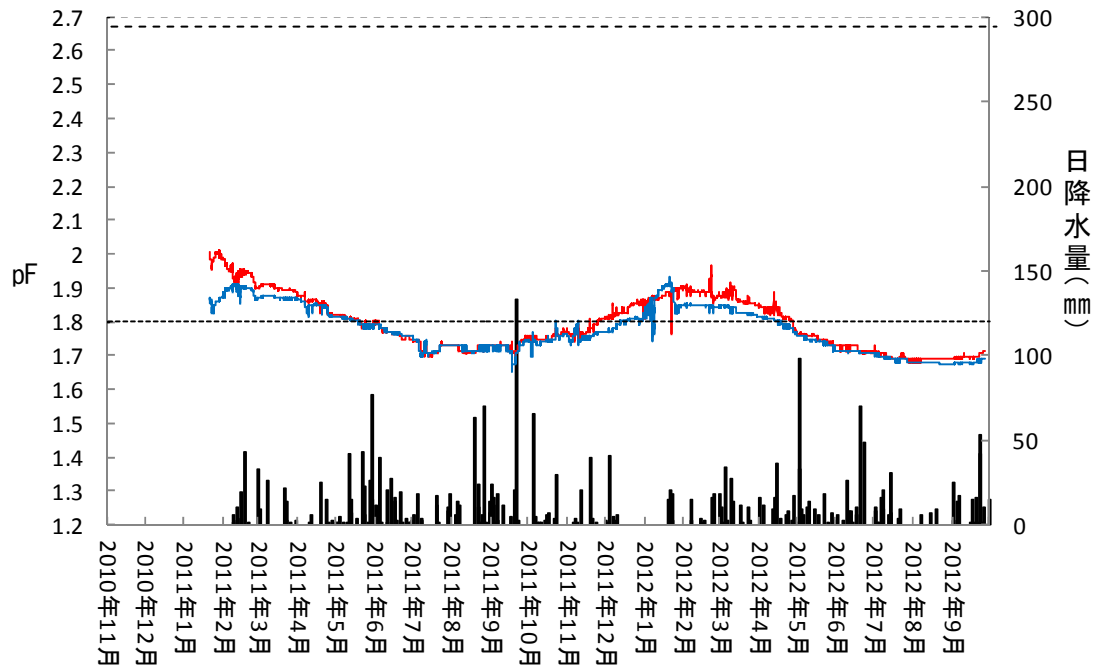


凡例：

No. 18 関東・吉川市一水田：グライ土

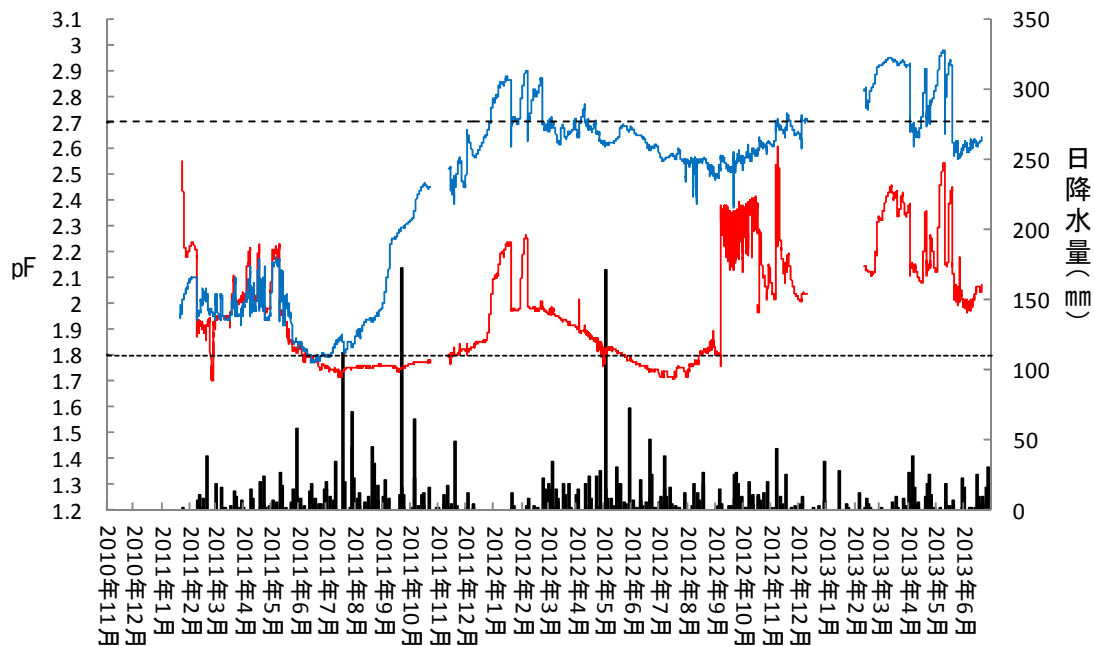
作付作物：
 水稻（H22、H23、H24）

- 50cm深土壌水分(pF)
- 30cm深土壌水分(pF)
- 最寄り観測所日降水量(mm)



No. 19 関東・真岡市一水田：多湿黒ボク土

作付作物：
 水稻（H22、H23、H24、H25）



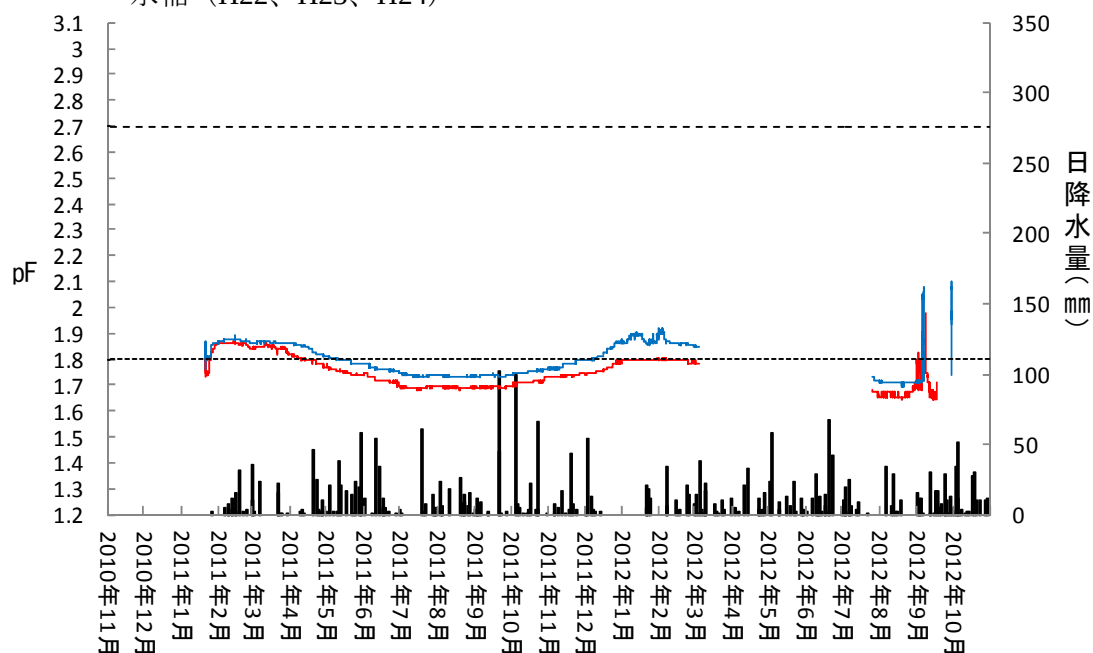
No. 20 関東・富里市一水田：灰色低地土

作付作物：

水稻（H22、H23、H24）

凡例：

- 50cm深土壤水分(pF)
- 30cm深土壤水分(pF)
- 最寄り観測所日降水量(mm)



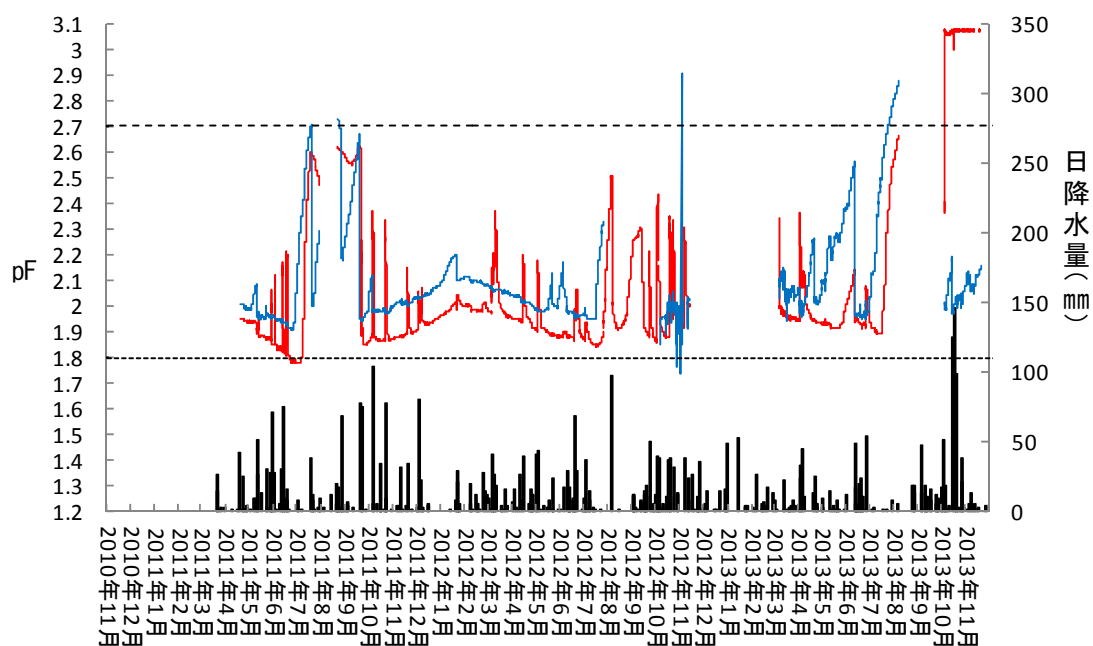
No. 21 関東・睦沢町一水田：グライ土

作付作物：

馬鈴薯、ブロッコリー（H22、H23）

馬鈴薯、にんじん（H24）

たまねぎ、にんにく、馬鈴薯、かぼちゃ、ズッキーニ（H25）



凡例：

- 50cm深土壌水分(pF)
- 30cm深土壌水分(pF)
- 最寄り観測所日降水量(mm)

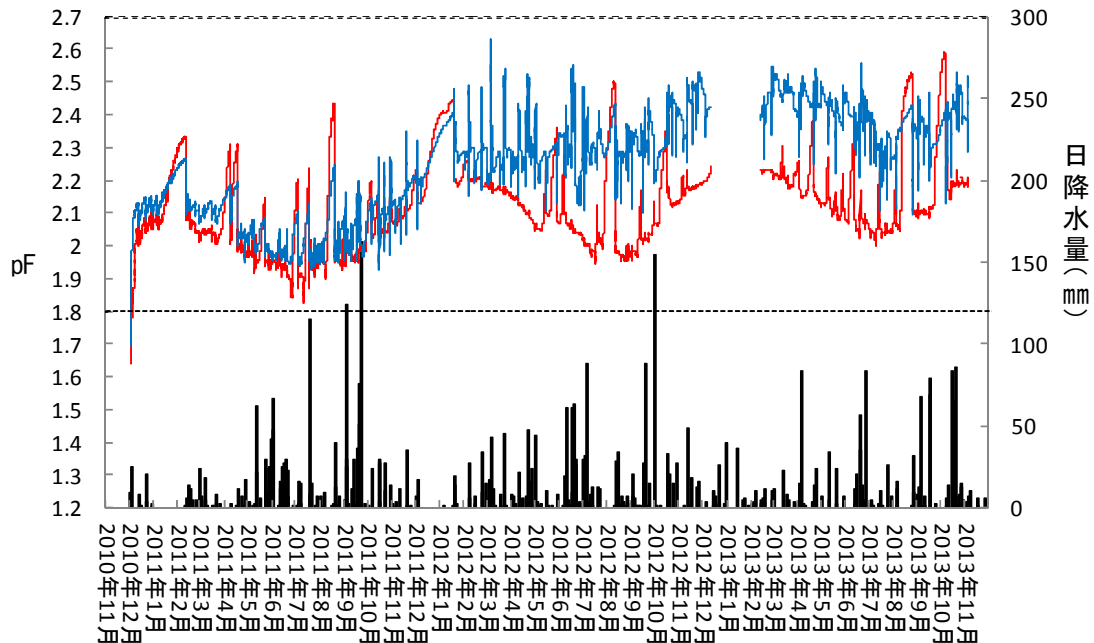
No. 22 東海・津市一畑：黒ボク土

作付作物：

小麦、ソルゴー（H22）

エン麦、ソルゴー（H23、H24）

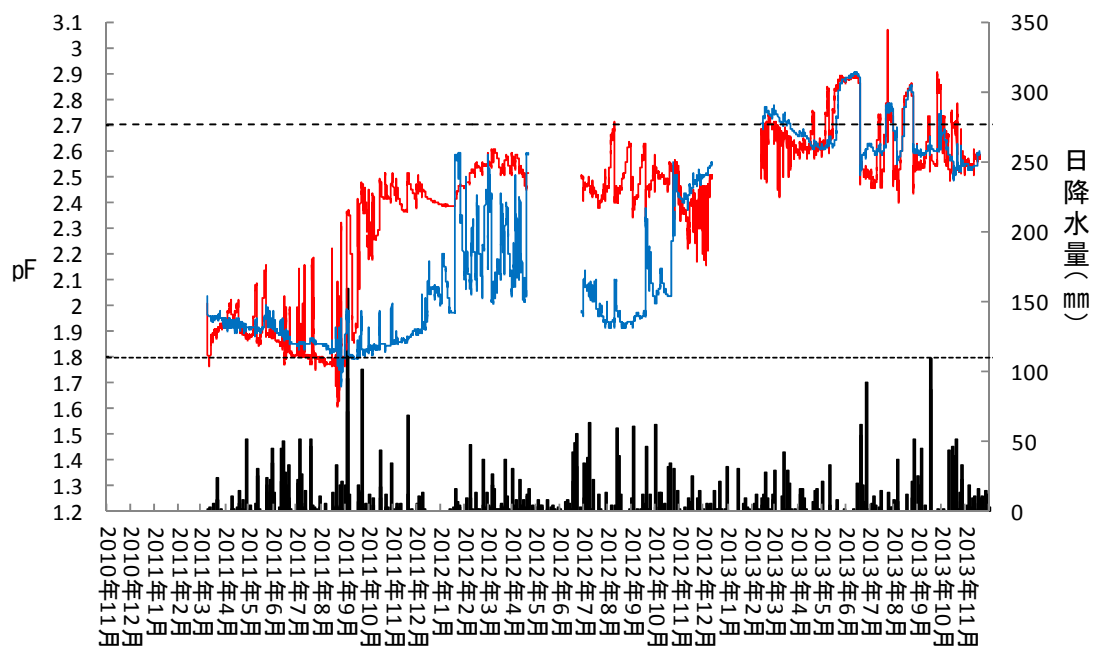
作付け無し（H25）



No. 25 近畿・宇陀市一畑：褐色森林土

作付作物：

休耕（H22、H23、H24、H25）



No. 29 九州・天草市一水田：灰色低地土

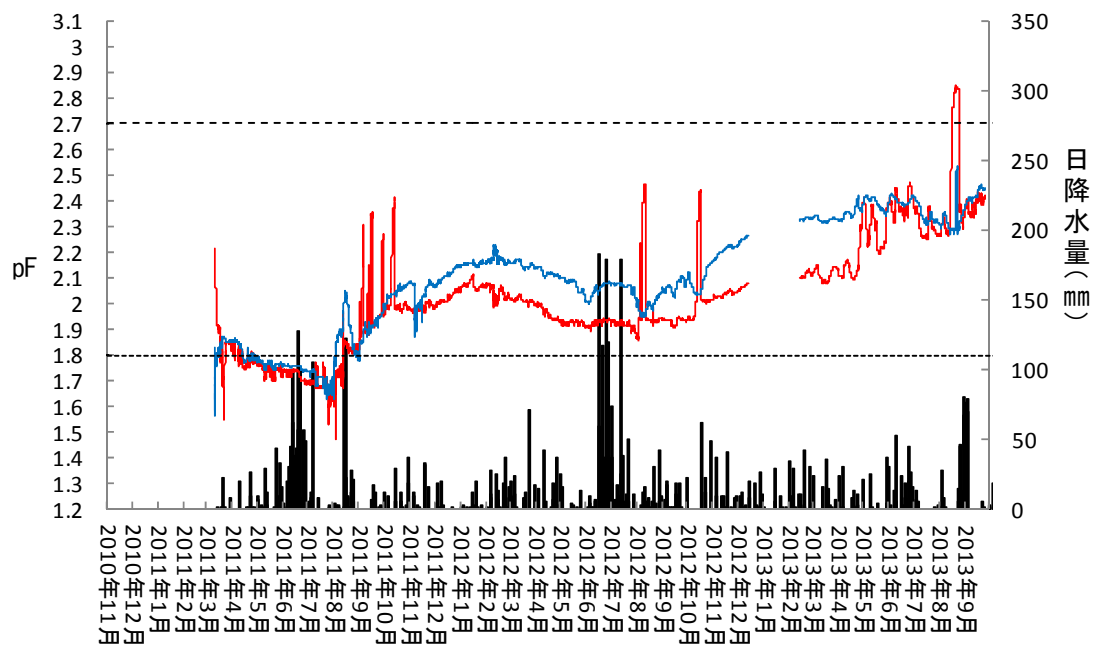
凡例：

- 50cm深土壤水分(pF)
- 30cm深土壤水分(pF)
- 最寄り観測所日降水量(mm)

作付作物：

水稻 (H22、H23、H24)

水稻、スイートコーン (H25)

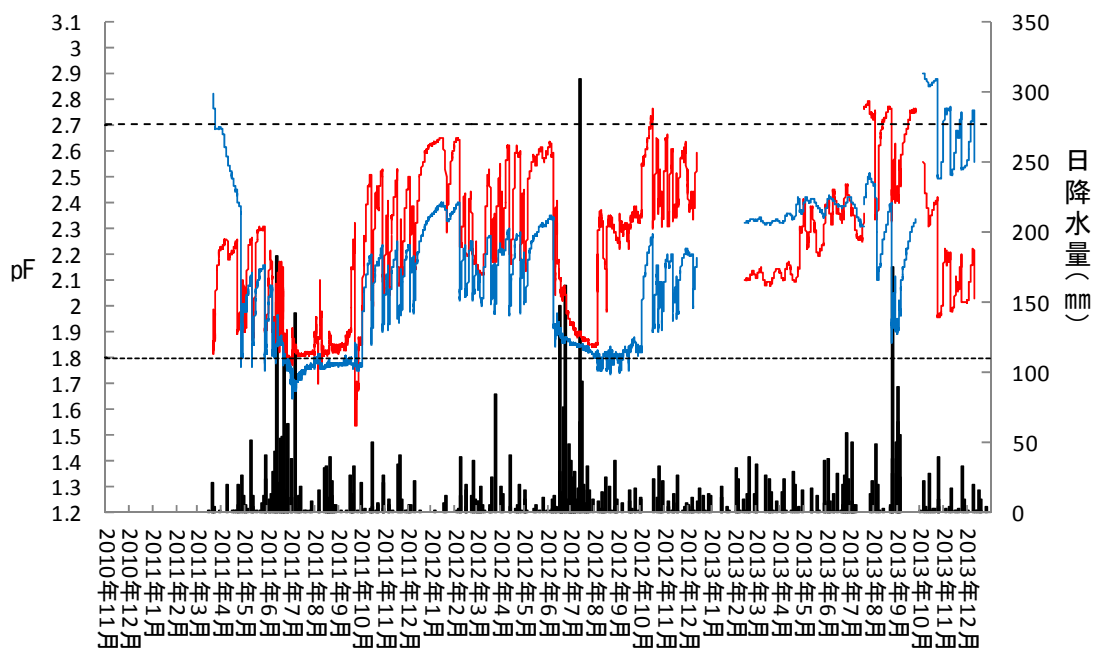


No. 31 九州・合志市一水田：多湿黒ボク土

作付作物：

水稻 (H22、H23、H24)

休耕 (H25)

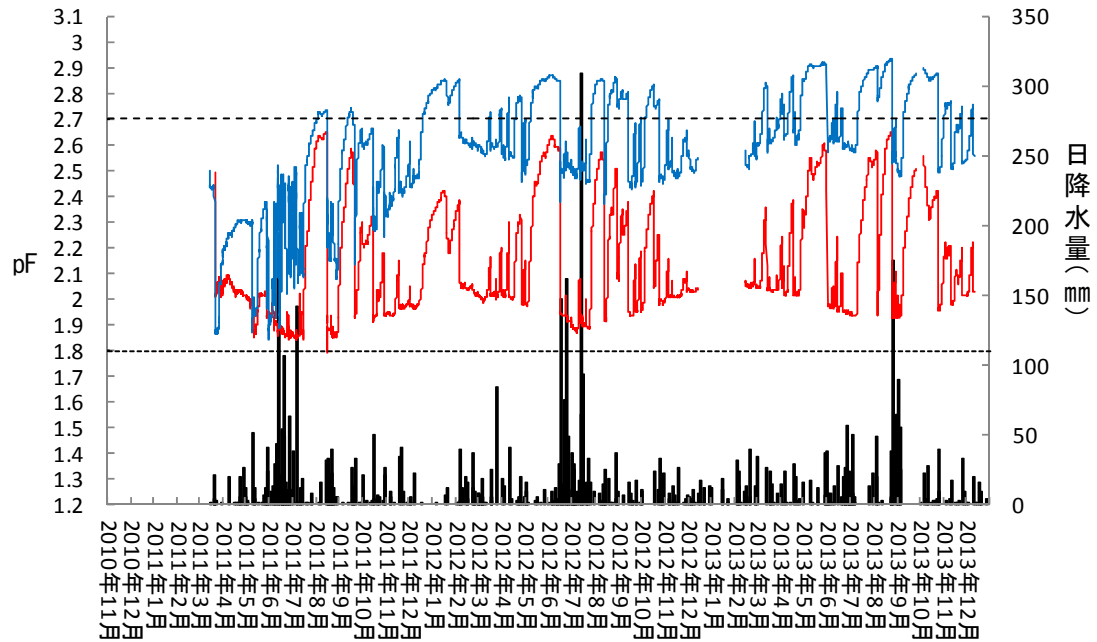


No. 32 九州・合志市一畑：黒ボク土

作付作物：
休耕 (H22、H23、H24、H25)

凡例：

- 50cm深土壤水分(pF)
- 30cm深土壤水分(pF)
- 最寄り観測所日降水量(mm)



(3) 代表例毎の特性

1) 地温－気温

これまでの回収データをもとにした地温－気温の関係は以下のとおり。

- ① 気温が0℃以上においては、地温と気温の関係は高い相関を有して推移する。
- ② ①の関連性については、深度（30cm、50cm）による直接的な差異はない。

2) 土壌水分－降水量

これまでの回収データをもとにした土壌水分－降水量の関係は以下のとおり。

- ① 水田と畑では、土壌水分の変化（時系列、深度分布等）が異なる。
- ② ①の関連性については、深度（30cm、50cm）による直接的な差異はない。

(4) 結果の扱い

これまでの回収データをもとにした炭素残存率推計に向けた考え方は以下のとおり。

- ① 土壌地温は30cm深も50cm深においても地上平均気温を用いて推計することが可能。
- ② 土壌水分条件の差異が大きいことから、水田と畑は明確に区分して炭素残存率を推計する必要がある。